

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年4月10日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年4月10日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【協力企業による線量データの誤送信について】</p> <p>委託先の協力企業が毎月の線量評価を実施する為に、電子式線量計の線量データを各社毎に仕分け、順次メールにて送付したところ、送付先企業から、他企業のデータファイルが含まれているとの連絡を受けた。確認した結果、対象企業79社の内、合計39社に誤ったデータを送付していたことが判明した。</p> <p>なお、送付データの個人情報項目は個人番号、氏名、所属企業名、電子式線量計の線量値等であり、6053件分である。</p> <p>同日に送付された39社に連絡し、当該メールの削除を依頼すると共に第三者が閲覧していないことについても追加で確認。</p> <p>今後、原因を特定すると共に再発防止策を検討予定。</p>	G II	4月7日
2	<p>【5号機中央制御室換気空調系冷凍機(B)のフロン受けタンクからのフロンの微少漏えいについて】</p> <p>5号機中央制御室換気空調系冷凍機(B)のフロン受けタンクのサイトグラス(※)よりフロンの微少漏えいを確認。サイトグラスに閉止キャップを取付け漏えいは停止、フロン受けタンクの出入口弁を隔離。</p> <p>原因については、調査中。</p> <p>冷凍機は、停止中であるが同系統の(A)・(C)系での運転により系統への影響は無い。</p> <p>(※)サイトグラス:タンクの外部から流体のレベルを目視確認する窓</p>	G III	4月7日